

2025-2026 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 10月

作成者：佐々木めい

作成日：2025年11月4日

ご挨拶

11月2日をもってアメリカではサマータイムが終了し、冬時間へと移行しました。これにより、日本との時差は夏季の-13時間から-14時間へと変更されています。気温も1日を通して最高13度ほどになり、本格的な冬の訪れを感じる季節となりました。

皆様はいかがお過ごしでしょうか。寒暖差の大きい時期ですので、どうぞお体にお気をつけください。私自身も、体調管理を意識しながら生活リズムを整えて過ごしています。

近況報告：就職活動と学業について

今月は、日本で進めてきた就職活動を振り返りつつ、アメリカでの就職活動に関する情報収集を行いました。また、来学期（後期）からの履修登録手続きも進めています。

私は現在、日本の大学を休学し、アメリカ・フィンドレー大学に留学しています。本レポートでは、日本とアメリカの就職活動の違いや、学部コースへの編入に向けたプロセスについてご報告します。

ボストンキャリアフォーラムを通じて見えた就職活動の違い

私は実際に参加していませんが、アメリカで行われる「ボストンキャリアフォーラム（Boston Career Forum）」について調べる中で、日米間の就職活動の特徴や価値観の違いを強く感じました。

ボストンキャリアフォーラムは、日英バイリンガルの学生を対象に毎年開催される世界最大級の就職イベントです。参加企業は主に日系企業ですが、日本での選考とは異なり、学業成績（GPA）や専攻内容などの学問的成果をより重視する傾向があります。

また、論理的思考力や課題解決力、合理的に行動できるかといった点が評価の対象となりやすいことも特徴です。こうした違いを知ることで、改めて自分の強みや今後磨くべき能力を見つめ直すきっかけになりました。

さらに、現地での就活は、スケジュール管理や事前準備の徹底が特に重要だと感じました。多くの企業はキャリアフォーラムで最終面接を実施するため、事前にオンラインで選考を進めておく必要があるなど、計画性と行動力が問われる形式であることがわかりました。

履修登録について

前期は英語集中コース（IELP）に所属していましたが、後期からは学部コースへと進学します。

英語集中コースにはレベル1～3があり、レベル3を修了する、またはPlacement Test（クラス分けテスト）でレベル3相当のスコアを取ると、学部コースへの編入が可能になります。

Placement Testはパソコン上で実施され、解答結果によって難易度が変化する形式です。リスニング・リーディング・文法など総合的な英語力を測定します。

学部では、日本で専攻していた内容と関連する経営学部マーケティング専攻を履修予定です。授業の構成は日本と似ており、前期に基礎科目、後期に発展科目が配置されています。ただし、発展科目を受講するには「前期に特定の科目を修了していること」が条件になる場合があります。

その場合でも、教授に直接メールを送り、履修の許可を交渉することで受講を認めてもらえるケースが多いです。許可が得られた後は、専用の履修登録システムを通じてアドバイザーの承認を受け、正式に登録します。

日本と大きく異なる点は少ないものの、教授とのやり取りや手続きの準備に時間がかかるため、計画的に進めることができたと感じました。

課外編

こちらでは、私の大好きなスタジオジブリの作品が映画館で上映されるということで、「千と千尋の神隠し」を友人たちと鑑賞しに行きました。日本の文化的要素が多く含まれた作品であるため、上映後には友人たちと神道の概念や登場人物の行動背景などについて話し合い、自国の文化を英語で説明・共有する良い機会となりました。自分にとって当たり前だった価値観を言語化して伝える難しさとともに、文化的な違いを越えて共感が生まれる瞬間の面白さを感じました。

また、私がもう一人の「推し」であるアメリカのポップ歌手、ティラー・ス威フトが新アルバムを発表し、そのミュージックビデオを映画館で公開するパーティ形式の上映イベントが開催されました。ティラー・ス威フトが好きな友人たちと一緒に参加し、テーマカラーに合わせて洋服をコーディネートして楽しみました。上映中は観客全体が一体となって盛り上がり、映画館で声を出して楽しむことがマナー違反ではない文化を実際に体験できたのがとても新鮮でした。

これらの経験を通して、異文化の中で自分の「好き」を通じて他者とつながることの楽しさや、文化を越えた交流の豊かさを改めて実感しました。



まとめ

今月は、就職活動に関する情報収集と、学部編入に向けた準備を並行して行いました。実際に行動する前に海外での就職事情を調べることで、将来どのような環境で働きたいか、自分に合ったキャリアの方向性をより具体的に考えるきっかけになりました。今後も、留学中でしか得られない経験を積み重ねながら、柔軟な視野をもって成長していくたいと思います。

以上の文章につきまして、ご質問やご意見などございましたら下記メールアドレスまでご連絡ください。

sasakim@findlay.edu